規格外農産物アップサイクル推進事業委託業務
質問に対する回答

令和7年5月2日
徳島県農林水産部みどり戦略推進課販売・物流支援室

	項目	質問内容	回答
質問1	仕様書 (1) ア 規格外品等の活用を希望する生産者等(生産者団体を含む)の掘り起こしについて	農産物以外にも加工品や海産物事業者を想定しても良いのでしょうか？	本事業は、「農産物の規格外品や未利用資源等」をアップサイクルすることが目的の事業になります。 独自提案として、生産者等の掘り起こし対象に農産物以外の「加工品」や「海産物」の事業者を含むことは問題ありませんが、仕様書上に定める「3商品以上の商品開発」の要件は、少なくとも1種類以上の農産物を使ったアップサイクル商品であることを想定しております。
質問2	仕様書 (1) イ 「実需者リスト」、ウ 「加工業者リスト」について	「実需者リスト」および「加工業者リスト」の内容はそれぞれ何件程度でしょうか？	「実需者リスト」は18件、「加工業者リスト」は5件です。 具体的な事業者名等は、参加申込のあった事業者にのみ別途通知します。
質問3	その他	令和6年度「SDGs 実現に向けた県産食材 アップサイクル事業」で開発した商品についての情報をいただくことは可能でしょうか？	令和6年度事業では、2社に県産の規格外品を活用した商品開発を実施いただきました。 ①オイシックス・ラ・大地株式会社がトマトの規格外品を活用した「徳島県産フルーツトマトを使ったココ旨バターチキンカレー」を開発。 ②株式会社成城石井がしいたけの規格外品を活用した「椎茸とエリンギの煮物（徳島県生椎茸使用）」を開発。
質問4	仕様書 (2) ア 消費者向けPRについて	開発商品の販促・広報について、現時点で想定されている手法やイメージはございますか？	県内外のより多くの消費者に開発商品や本取組を知ってもらうため、予算の範囲内で最も効果的に発信できる手法を御提案ください。
質問5	その他	本事業は、「SDGs 実現に向けた県産食材アップサイクル事業」をひきつぐ事業かと思いますが、昨年度の事業実施において発見された課題や、貴県がお感じになっている課題はございますか。	本事業は、県産農産物の規格外品が継続的に活用されて、徳島ならではのブランディング強化・販路拡大につながることを目的としています。 そのためには、 ①規格外品等の特性を理解した上で、実需者とのマッチングを図り、「継続的な活用につながる」仕組みをつくること。 ②規格外品を活用する上で、商品のストーリー性やデザイン性などの訴求力があり、付加価値を高める商品開発を実施すること。 が必要だと感じております。